

目次

概要

[コンフィギュレーション OOM エラーを防ぐ](#)

[総メモリを高めて下さい](#)

[メモリ毎要求を減らして下さい](#)

概要

この資料はメモリ (OOM) エラーからの Cisco インフォメーション・サーバー (CIS) クラッシュを防ぐために使用される最良の方法を記述したものです。

コンフィギュレーション OOM エラーを防ぐ

総メモリを高めて下さい

総メモリを高めて下さい。 > 設定 > 合成サーバ > メモリ > スタジオの Java ヒープ > 合計 利用可能なメモリ (サーバ 再始動で) 『管理』 を選択し、CIS サービスに割り当てることができるマシンで利用可能な 最大値を選択して下さい。

注 この設定を変更する場合、断絶を再起動して下さい。

メモリ毎要求を減らして下さい

OOM エラーは通常全体の利用可能な Java Virtual Machine (JVM; Java バーチャルマシン) ヒープを消費する一つの要求に起因します。要求は JVM ヒープから奪取 することができることメモリ量を制限したときこれを防ぐことができます。

1. 制限を設定し、スタジオで > 設定 > CIS サーバ > メモリ > 要求ごとの管理された最大メモリきちんと 『管理』 を選択して下さい。
2. 100 から 70% のデフォルト値をまたはテスト結果により少なく基づいて変更して下さい。

注意： マネージ メモリを余りにひどく制限しないで下さい。低い設定はディスク ページングのための有効な要求を遅らせ、処理を並べるかもしれません。

注 メモリに負荷をかけるクエリはもはや全体の利用可能なヒープを消費する場合がないのでより遅い応答時間を過すかもしれません。